

エラーコード(警報)表示

エラーコード(警報)はリモコンの時刻表示部に表示されます。
エラーコードが表示された場合は以下の処置を行ってください。

エラーコード	原因	確認・処置
—	電力供給中(正常)	—
760	通信異常	漏電遮断器のレバーを「OFF」にして再度「ON」にしてください。 一度沸き上げが完了するとリモコンの時刻表示は現在時刻を表示します。
E2	残湯量サーミスタ異常(100L)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	残湯量サーミスタ異常(50L)	
E4	温度過昇防止器作動	
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	停電検知	一度沸き上げが完了するとリモコンの時刻表示は現在時刻を表示します。
E8	ヒータ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。

サービスを依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現象	説明
設定温度に沸き上がらない	●リモコンを取り付けているのに操作部で設定していませんか。 リモコンを取り付けている場合は、操作部で湯温設定はできません。必ずリモコンで設定してください。

型名 CMR-1102

も く じ	各部のなまえ	
	リモコン(CMR-1102)……………	1
	使用方法	
	現在時刻の設定……………	2
	使用方法……………	3
	沸き増し方法……………	4
	数日間運転を停止する方法……………	5
	故障・異常の見分けかたと処置方法	
	エラーコード(警報)表示……………	7
	サービスを依頼される前に……………	7

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●このリモコンを取り付けることにより、「時間帯別電灯」の契約が可能です。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

契約電力制度を「時間帯別電灯」にするとリモコンで昼間の沸き増しができます。

「時間帯別電灯」料金制度とは……

1日中200V電源が供給されます。

家庭で使用するすべての電力を昼間電力(午前7:00～午後11:00)と夜間電力(午後11:00～午前7:00)に分けて計算します。

一般家庭の電気料金に比べ昼間電力は若干高くなりますが、夜間電力が大幅に割引されます。

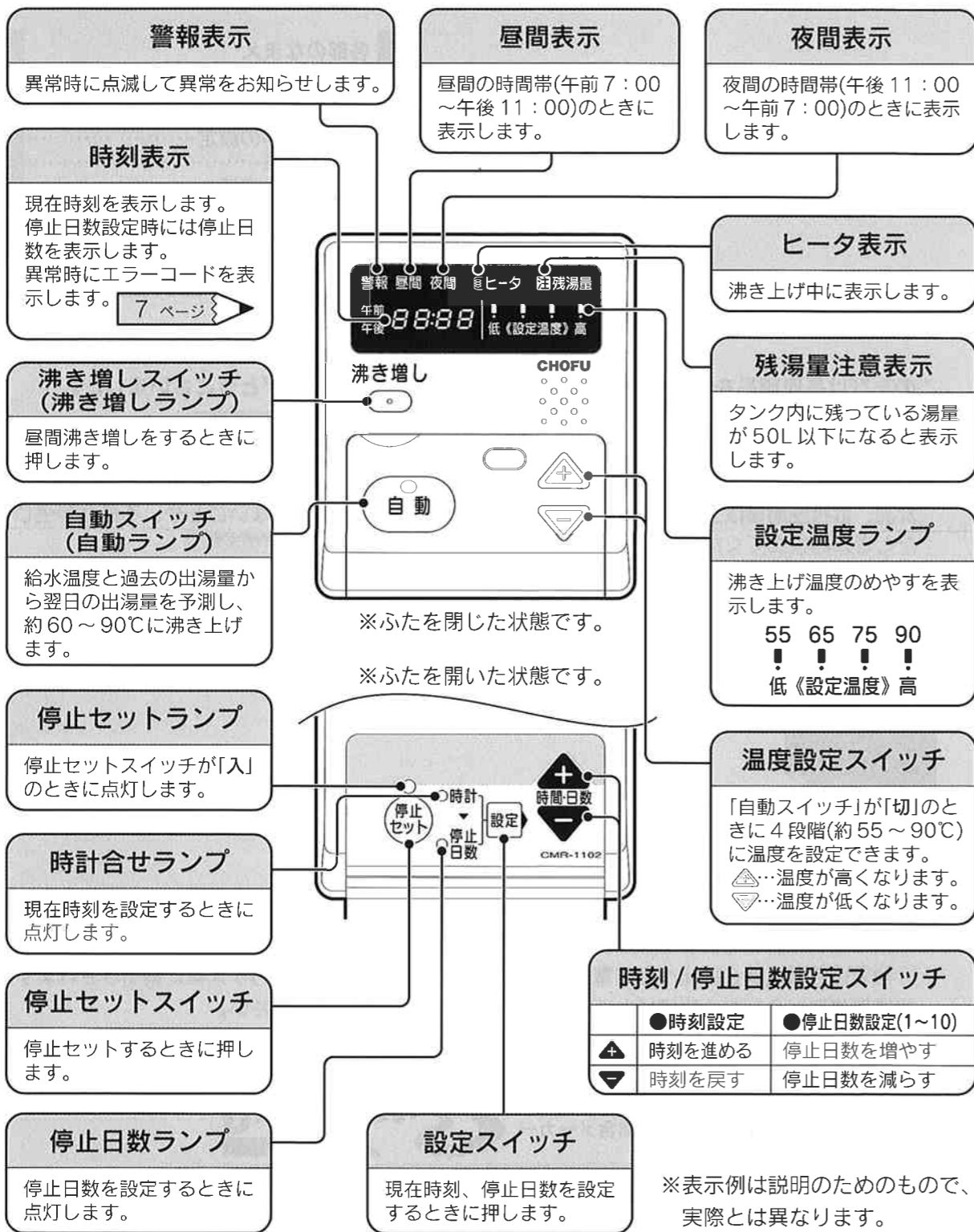
※時間帯別料金制度の詳細はお近くの電力会社にお問い合わせください。

住宅設備機器総合メーカー



●本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(0832)48-1111
FAX(0832)48-1906

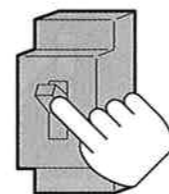
リモコン(CMR-1102)



※表示例は説明のためのもので、実際とは異なります。

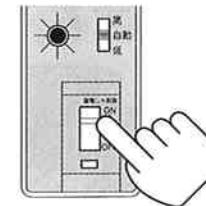
現在時刻の設定

1 200V 電源ブレーカを「入」にする



200V 電源ブレーカを「入」にします。

2 漏電遮断器のレバーを「ON」にする



機器正面の操作扉のねじ(1 個)をゆるめ、操作扉を開きます。
漏電遮断器のレバーを「ON」にします。

3 設定スイッチを 1 回押す



時計合せランプが点灯します。

4 時刻 / 停止日数設定スイッチで現在時刻を設定する



押し続けると 30 分ずつ変わります。

5 設定スイッチを 2 回押す



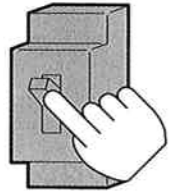
設定スイッチを 2 回押すとブザーが鳴って現在時刻の設定が完了します。
リモコンのふたを閉じることで同様に時刻の設定が完了します。

お知らせ

- 停電したときは現在時刻を合わせなおしてください。
- 現在時刻が合っていないと昼夜の判断が正しく行われず、電気料金が割高になることがあります。
- 時計の精度は月差で約 30 秒です。

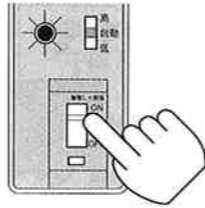
使用方法

1 200V 電源ブレーカを「入」にする



200V 電源ブレーカを「入」にします。

2 漏電遮断器のレバーを「ON」にする



機器正面の操作扉のねじ(1個)をゆるめ、操作扉を開きます。漏電遮断器のレバーを「ON」にします。

3 温度調節の方法

●自動運転を設定する場合



自動スイッチを押し、自動ランプを点灯させます。

●温度を設定する場合



自動ランプが消灯した状態で温度設定スイッチを押し、ご希望の温度に調節します。設定温度は4段階(約55~90℃)に調節できます。自動ランプが点灯している場合は、自動スイッチを押して自動ランプを消灯させ、温度設定を行ってください。

停止

夜間電力終了時間(午前7時頃)になるとヒータへの通電は停止します。また、夜間電力時間中に停止したいときは、操作扉を開いて漏電遮断器のレバーを「OFF」にしてください。

- リモコンを取り付けた場合は、操作部で温度設定はできません。必ずリモコンで設定してください。
- 沸き上げが完了するとブザーでお知らせします。

沸き増し方法

1 温度調節の方法

●自動運転を設定する場合



自動スイッチを押し、自動ランプを点灯させます。

●温度を設定する場合



自動ランプが消灯した状態で温度設定スイッチを押し、ご希望の温度に調節します。設定温度は4段階(約55~90℃)に調節できます。自動ランプが点灯している場合は、自動スイッチを押して自動ランプを消灯させ、温度設定を行ってください。

2 沸き増しスイッチを押す



沸き増しランプとヒータ表示が点灯します。

- 沸き上げが完了するとブザーでお知らせします。

停止



設定温度まで沸き上がるか、夜間電力開始時間になると自動的に停止します。途中で停止したい場合は沸き増しスイッチを押してください。

数日間運転を停止する方法

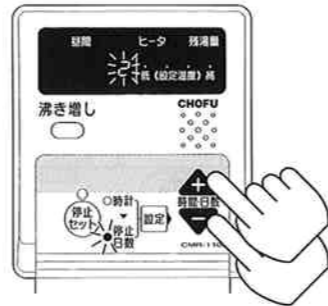
旅行などでお湯を使用しないときに数日間(1～10日)沸き上げを行わないように設定できます。

1 設定スイッチを2回押す



停止日数ランプが点灯します。

2 時間/停止日数設定スイッチを押す



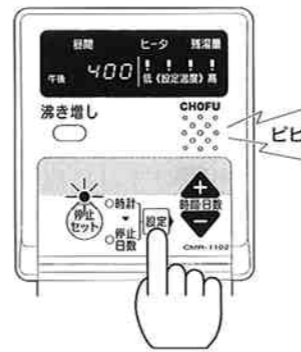
停止したいご希望の日数に合わせます。
停止できる日数は1～10日間です。

3 停止セットスイッチを押す



停止セットランプが点灯します。

4 設定スイッチを1回押す



設定スイッチを押すとブザーが鳴って停止セットが完了します。
リモコンのふたを閉じることで同じように停止セットが完了します。

停止セットの解除



停止セットスイッチを押すと解除されます。

お知らせ

- 昼間の時間帯(午前 7:00～午後 11:00)に停止を設定した場合はその日の夜から沸き上げを停止します。
夜間の時間帯(午後 11:00～午前 7:00)に停止を設定した場合は次の夜から沸き上げを停止します。

例 3泊4日の旅行の場合

帰宅する前日の夜に沸き上げを行わないと帰宅する日にお湯は使用できません。
従って、出発する前日の午後 11:00 から出発する日の午後 11:00 までに停止日数を2日間に設定してください。

